

1 市の概要

人口	47,176 人
保護率	2.1 %

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	21.0
プラン作成件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	4.2
就労支援対象者数人口10万人当たり (件) 一月当たり	0.4
就労・増収率(%)	50.0

4 事業実績（H30年度）

利用者	就職者	うち体験就労利用者数	支援終了
7人	2人	2人	1人

※協力事業所数6か所
(民間企業2か所、社会福祉法人2か所、公民館2か所)

5 事業実施のポイント ～就労体験から地域へ～

Point

相談者のペースに合わせた就労体験を実施し、地域へ

●相談者と共にプログラムの開発・創造

- ①何ができるのかを一緒に考える。
- ②社会資源を地域から発見⇒なければ創造へ
- ③体験を通じて自己有用感、自己肯定感の向上へ

●開発・創造してきたプログラム

模擬カフェ・地域カフェ・洗車・農業・就労準備セミナー・物販カ
タログ作り・リメイク缶作り・清掃業務・子ども食堂等、相談者と話
し合いを重ねながら本人のペースと意欲を大切にしている。
地域とのつながりを大切に、地域と連携した活動も実施している。



6 取り組んで良かったこと

- 就労体験を通じて人に対する不安感を和らげることができ、就労への大きな一歩を踏み出すことができた。
- 利用者の自己有用感や自信の高まりだけでなく、地域の方からの支えができ、そして地域を支えるきっかけをつくることができた。

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度随意契約）
事業費	2,830千円（平成30年度）
理由 (委託)	○生活困窮者支援を通じた地域づくりを推進するため、平成26年度に生活困窮者自立促進支援モデル事業を（福）南国市社会福祉協議会に委託。法施行後も社協に委託し、「あんしん生活サポートセンター」が自立相談支援機関として事業を実施。 ○生活困窮者への支援に一体的に取り組むため、平成28年度から就労準備支援、家計相談支援の2事業も社協に委託。
事業概要	○就労準備支援員（専任）は常勤で1名を配置。 ○市が社協に委託して実施している「あったかふれあいセンター事業*」と協働して、センター拠点での模擬カフェや農作業体験等を通じ、支援プログラムによる個人の状況に応じた支援を実施して一般就労に向けた基礎的な能力の習得を目指している。
その他 特記事項	○モデル事業の開始と同時に「南国ネットワーク連絡会」が発足。専門機関・ボランティア団体等が連携し、「生活総合相談会（今夜はあんしんナイト!）」を年3回、夜間に開催するなどして、それぞれの強みを活かした支援の体制づくりに取り組んでいる。

*あったかふれあいセンターは、高知県が整備・機能拡充を推進している小規模多機能支援拠点。南国市では県補助金と「地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業」としての国庫補助金を活用。